

7月30日(木)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL今年はオンラインで
元気に発行中!

ほぼ

日刊サマーミュージック ONLINE

Hobo Nikkan Summer Muza



【7/30: 読売日本交響楽団】

©青柳聡

読 売日本交響楽団の公演は、指揮の下野竜也曰く「サンドイッチ方式」プログラム。華麗な響きで奏されるモーツァルトの交響曲第32番と第31番「パリ」の間に、カリスマの人気を誇るピアニストの反田恭平と、ロン＝ティボー国際第2位の務川慧悟が登場し、プーランクの「2台のピアノの為の協奏曲二短調」、サン＝サーンスの「動物の謝肉祭」を演奏。モーツァルトはどちらも祝祭感に溢れ、日々悪化していく世情を吹き飛ばしてくれるような力強さ。プーランク

は非常に技巧的な作品であり、ピアニスティックな技巧に彩られているのはもちろんだが、歌わせること、そして打楽器的に奏すること...とピアニストへの要求が多い難曲。音も多いので、「うるさい」だけで終了...という演奏に出会うことが少なくない。しかし当然二人の演奏は違う。スケールの大きな反田とシャープな務川の演奏スタイルと音色は正反対ともいえる音楽性でありながら、それが逆に見事な融合を生み、作品の構造を浮き彫りにしながら、華麗

に音楽を展開していった。キャラクターの違いは「動物の謝肉祭」でさらに輝きを増しており、この二人のアンサンブルの可能性にさらに期待が膨らむ公演となった。(ピアニスト/音楽ライター 長井進之介)

アーカイブ配信は8/31日まで視聴できます

ホール座席券・
オンラインチケットは
こちらから

Enjoy Kawasaki パートナーショップのご紹介

夏バテ気味な身体に、
お肉でスタミナ補給!

「今日はなんだかパワーが出ないなあ。」と思った時は「やっぱりお肉!」ということで、ランチタイムにステーキハウスへ直行。半地下で隠れ家的な雰囲気のお店のおすすめは炭焼ハンバーグなのですが、腹ペコだったのでビーフステーキ、ハン

バーグ、骨付ソーセージ3点盛り「ミックスステーキ」(1,580円)を注文。なんて欲張りな私(笑)。じゅうじゅうと熱い鉄板の上でその場でソースをかけてくれるので、香ばしい匂いがさらに食欲をそそります。アツアツのお肉を「はふはふ」と頬張ると、中からじゅわっと肉汁が...。た、たまりません! そんな魅力的なお店ですが、肉々しい美味しい肉が提供されている分、油で床が少々滑りやすいので要注意! お腹いっぱいでも、ふらふらせず、しっかり歩いてくださいね! (肉食 ふ)

ハンバーグ&ステーキ
アルカサル

📍 ラ・チッタデッパB1F(入口は1F)
🎁 パートナーショップ特典
飲食代5%OFF(現金のみ)



反田恭平(左) 下野竜也(中央) 務川慧悟(右)

来場者の声

オケあり、室内楽あり、ピアノあり、それでも一貫したテーマのプログラムが素晴らしい!!(20代・会社員・ナスターシャ)/ 弦楽器と管楽器を左右に分ける配置、オペラのピットを直接聴いているようで、特にモーツァルトで新鮮な響きが楽しめました。(50代・会社員・北十字)/ 「動物の謝肉祭」で下野マエストロが解説してくださったので、いつもよりも楽しく聴けました。読響のメンバー紹介も良かったです。出演者と聴衆との距離が近く感じられたまさにフェスタらしい演奏会でした。(60代・主婦・ミリミリ)/ 下野さんとお話し中も、演奏中もずっと笑顔で、音楽できて幸せだというのが伝わってきました。オンライン視聴ですが、小さい子どもがいるのでどうしても集中できず、アーカイブで何度も見れるのはうれしいです。会場へ行くのもハードルが高いので、ハイブリッドにもらえて、本当にありがたい! (30代・会社員・まりも)/ 務川慧悟さん反田恭平さんのファンです。昨年このフェスティバルを知り、今日のチケット予約のために今年4月友の会会員になりました。開催されて嬉しいですね。このあとアーカイブ配信を楽しみます。(会社員・すず)/ ソリスト御二人の共演を聴くことができて、とても幸せな時間でした。プーランクのコンチェルトも素敵でしたが、「動物の謝肉祭」一曲一曲をこんなに楽しんだのは初めてだったかもしれません。(40代・講師・みかろ)

#サマーミュージックで投稿してください!

Twitter : @summer_muza
Facebook : @kawasaki.sym.hall
Instagram : @muzakawasaki